②　支出の削減に関する事項
・効率的な職員配置を行うとともに、職員給与費の削減を継続する。
・後発医療品の利用拡大、的確な在庫管理による薬品費の適正化を進める。
③　その他
・引き続き資金不足の改善及び解消に努める。
⑵　その他公営企業の経営の合理化に関する事項
・院内全体で経営改善の取り組み意識を共有し、随時、経営状況の要因分析と対応策の検討を行う。

兵庫県三木市　病院事業会計
経営健全化計画完了報告（要旨）
1　経営健全化計画の平成25年度実施状況
⑴　計画と具体的な措置の状況
1　医師の確保
・大学の医局への派遣要請を継続するとともに、独自の人脈や民間の求人会社等の活用により医師の確保を進めた結果、平成25年９月には医師59名体制となり、目標を16名上回った。
2　看護師の確保
・看護師確保プロジェクトチームを設置するなど看護師確保に努めた結果、平成25年９月には北播磨総合医療センター企業団から派遣の看護師を加えて254名の体制となり、目標を44名上回った。
3　地域連携の強化
・平成24年11月に地域医療支援病院として県から承認を受けており、平成25年度も引き続き地域の医療機関との連携強化に努めた。
4　人件費の削減
・平成25年度も、平成21年７月から実施している医師以外の職種の給与の平均７％カットを継続して実施した。
5　経費の削減
・平成25年度も、引き続き経費削減に努めた。
6　一般会計からの支援
・地方公営企業法に基づく高度医療や救急医療等の不採算経費に関する一般会計からの繰入を継続し、平成25年度は計画どおり５億円の繰入れを行った。
⑵　資金不足額解消の状況

（単位：千円）

区分＼年度	計画初年度の前年度	計画初年度（平成21年度）	平成22年度（第２年度）	平成23年度（第3年度）	平成24年度（第4年度）	計画最終年度（平成25年度）
当初計画　A		136,100	△ 295,000	△ 10,000	60,000	1,160,000
解消実績額　B		269,985	△ 136,630	△ 226,305	△ 46,590	2,421,619
現在計画　C		—	—	—	—	2,421,619
B－A又はC－A		133,885	158,370	△ 216,305	△ 106,590	1,261,619
資金不足額	1,101,100	831,115	967,745	1,194,050	1,240,640	—

⑶　資金不足比率の状況

（単位：％）

資金不足比率＼年度	計画初年度の前年度	計画初年度（平成21年度）		平成22年度（第２年度）		平成23年度（第３年度）		平成24年度（第４年度）		計画最終年度（平成25年度）	
	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値
資金不足比率	23.6	20.6	17.9	23.7	19.4	21.7	23.2	20.7	22.9	—	—

2　今後の公営企業の経営方針
・北播磨総合医療センターが平成25年10月１日に開院したことに伴い、同日付けで三木市病院事業会計は廃止した。